

授業情報			
開講年度	2022年度	開講箇所	大学院教育学研究科
科目名	数学科教育特論IV-2		
担当教員	高木 悟		
学期曜日時限	秋学期 01:月6時限		
科目区分	選択・数学科教育特論	配当年次	1年以上
使用教室		キャンパス	早稲田
科目キー	371E220008	科目クラスコード	01
授業で使用する言語	日本語		
授業方法区分	【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)		
コース・コード	EDUX681L		
大分野名称	教育学		
中分野名称	教育学		
小分野名称	その他		
レベル	修士レベル	授業形態	講義
単位数	2		

シラバス情報							
授業概要	この科目を履修する前に「数学科教育特論IV-1」を履修するとよい。 「数学科教育特論IV-1」に引き続き、教育工学に応用できるラフ集合理論またはファジ理論について輪講形式で授業をおこなう。 対面とオンラインを交互に組み合わせる。対面授業時はzoomで生中継し、オンライン授業時は基本的にzoomのリアルタイム形式でおこなう。						
授業の到達目標	ラフ集合理論またはファジ理論の基礎を理解する。						
事前・事後学習の内容	毎回セミナー形式でおこなう。セミナーで発表するための準備に90分程度を要する。						
授業計画	#1. ガイダンス #2～#15. ラフ集合理論またはファジ理論輪講						
教科書	受講者と相談して決める。						
参考文献	「ラフ集合と感性」 森典彦他著 海文堂出版 「Rough Sets: Theoretical Aspects Of Reasoning About Data」 Z. Pawlak著 Springer 「ファジ理論 基礎と応用」 山下元監修 瀧澤武信編著 共立出版						
成績評価方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>割合</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レポート: 50%</td> <td>レポート提出状況・レポートの内容で評価する。</td> </tr> <tr> <td>平常点評価: 50%</td> <td>講義参加の態度で評価する。</td> </tr> </tbody> </table>	割合	評価基準	レポート: 50%	レポート提出状況・レポートの内容で評価する。	平常点評価: 50%	講義参加の態度で評価する。
割合	評価基準						
レポート: 50%	レポート提出状況・レポートの内容で評価する。						
平常点評価: 50%	講義参加の態度で評価する。						